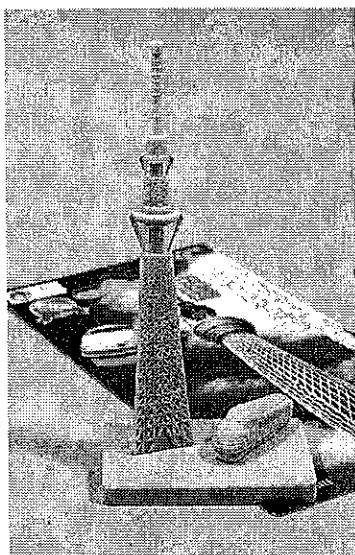


平成24年(2012年)5月22日(火曜日)

きよう22日から開業する東京スカイツリー。部材以外で尽力する金属関連企業もある。銅合金を鑄造する大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏)は、スカイツリー開業記念で作られた消しゴムの金型を製作した。

「東京スカイツリー」開業

大和合金「記念消しゴム」の金型作製



消しゴムは動物や食品などを精密なタッチで再現するイワコが生産。大和合金の金型は銅にベリリウムを2・75%添加した合金を使用し、冷え

やすく成型サイクルを早められるほか湯流れが良く複雑な形状を生みだせる。日本で唯一、ベリリウム銅の鑄造金型に対応している。金型製造では、顧客が提供したモデルを石膏型に起こす。合わせ目が重要で、彫刻刀などで微妙に調整する職人芸が要求される。製造課の内藤晃課長は「製品になったとき合わせ目の模様が目立たないよう、当社では0・1ミリの精度で調整している」と話す。現場の確かな目が支える金型技術。同社の金型で作られたスカイツリー消しゴムは発売のたびに品切れするご当地名物として羽ばたいている。